

受賞名：審査員特別賞

タイトル： いつもありがとうおまわりさん

氏名： 中根 吉平

小学校名：愛知県 安城市立明和小学校 三年

「ウー—」

今日もパトカーのサイレンがなっています。ぼくは、パトカーのサイレンがにがてです。それは、どこかでわるい人がわるいことをしていると思うとこわいからです。

おまわりさんもにがてです。大きな体でニコニコしていないからです。どこかにピストルを持っているのかな？手じょうを持っているのかな？お母さんにしかられたことがばれたら、ぼくはたいほされてしまうかもしれないと思うと、とてもドキドキしていました。

ある日、ぼくがお母さんといっしょに車にのっていると、前を走っていた車がカーブ道でぶつかって車がころびました。お母さんはきゅうブレーキをふんで止まりました。

「だいじょうぶ？どこもぶってない？」

と、ぼくの心ばいをしてくれたけど、ころがった車や道路に落ちている部ひんがこわくて何も言えずに目をつぶっていました。そしたら遠くから

「ウー—」

パトカーのサイレンが聞こえてきました。

「あ、おまわりさんがたすけに来てくれた。」

あんなににがてだったサイレンの音がぼくを安心させてくれました。

「ウー—」

今日もパトカーのサイレンがなっています。もう、こわくありません。おまわりさんが、ぼくたちをまもってくれていると思うからです。おまわりさんもこわくありません。じこで通れなくなってしまった車をスムーズに動かしてまわりの人の安ぜんをまもってくれたからです。ニコニコしない顔もみんなをまもる強いおまわりさんの顔だからです。

いつもぼくたちをまもってくれてありがとうございます。ぼくができることは、交通ルールをまもってじこにあわないようにすることだとお母さんが教えてくれました。ぼくはルールをまもって、自分をまもるから、おまわりさんはみんなの安ぜんをまもってください。